

保育施設で歌われている四季の歌に関する研究

A Study on the Seasonal Songs Used in Institutes for Early Childhood Education

岡崎善治*・近江秀崇*

Yoshiharu OKAZAKI, Hidetada OMI

要約

保育施設における幼児音楽は、日常の保育の中で様々な活動や生活の場面で取り入れられている。一言で「歌」といっても、四季の歌、生活の歌、行事の歌など様々なジャンルの歌を知ることができる。本研究では、岐阜県東濃地区(多治見市、土岐市、瑞浪市、恵那市、中津川市)の保育施設(幼稚園、保育所、認定こども園、幼児園)に、保育カリキュラムの実際として取り扱われている「四季の歌」の調査を実施し、月別の取り扱い曲の状況や歌を取り扱う際のポイントなど、幼児音楽の実態を検討した。その結果、岐阜県東濃地区全体及び各市の傾向や状況の違いを通して、保育者養成校の学生が就業するまでに経験を積んでおくべき曲が示唆された。

Abstract

In institutes for early childhood education, nursery songs form an integral part of day-to-day life. Although we refer to “nursery songs” as if they were all of the same genre, there are a multitude of songs about daily routine, the seasons, holidays and other festivities. In the present study, seasonal nursery songs used in institutes for early childhood education, including preschools, nursery schools, certified child care facilities, and infant care facilities in the Tono District of Gifu Prefecture (Tajimi, Toki, Mizunami, Ena, and Nakatsugawa cities) were examined, focusing on the timing in which certain songs were replaced by others, especially whether the month or a specific rationale had any bearing on the decision. The results, through the differences in the tendencies and circumstances of the entire Tono district of Gifu prefecture and the each city, songs that should be experienced before students of childcare provider schools were employed were suggested.

キーワード:

四季の歌, 岐阜県東濃地区, 保育施設, 幼児, 保育者

Key words:

The Seasonal Songs, Tono area, Gifu Prefecture, Institutes for Early Childhood Education, Infant, Childcare workers

I. 緒言

本学短期大学部保育科は、1966(昭和41)年に中京短期大学保育科として開学して以来、50年の歴史があり、専任教員と非常勤講師による歌やピアノ実技などの音楽指導がなされ、多くの卒業生を保育現場に輩出してきた。

しかし、この半世紀間で保育者養成校と保育施設で取り扱う歌が、果たして今の時代や子どもの保育に即しているのかということを考えると、保育者養成校で取り扱う教科書や歌の選択を検討す

る必要があるのではないかと考えるに至った。

そもそも我が国に音楽が教育として取り入れられたのは明治時代のことである。1872(明治5)年に学制が公布され、小学校で「唱歌」、中学校で「奏楽」という教科が設けられたことが我が国における音楽教育の始まりとされる。1881(明治14年)には学校教育用に編纂された唱歌集『小学唱歌集(初編)』が出版され、明治16・17年にそれぞれ第二編と第三編が順次出版、教育現場で活用され始めた。

*本学専任講師

保育現場での始まりは1877（明治10）年の『保育唱歌』である。前年に創設された我が国で初めての幼稚園である東京女子師範学校附属幼稚園（現在のお茶の水女子大学附属幼稚園の前身）で、幼稚園児のために作られた唱歌集『幼稚園唱歌集』が1887（明治20）年に出版された。しかし、歌詞が文語であるため、幼児が歌えるものではなかった。そこで幼児向けの話し言葉による唱歌集として1901（明治34）年に『幼稚園唱歌集』を出版するに至った。これ以降も1918（大正7）年には童謡を創作するため、いわゆる「赤い鳥童謡運動」が起こり、児童文学運動の機関紙『赤い鳥』が創刊、翌年には『金の船』も創刊され、現在歌い継がれている童謡の多くはこの時期に誕生した。戦後は様々なジャンルの歌が歌われ始め、現在に至ってもこうした歌が様々な保育施設で歌われているのが現状である。

このような音楽における歴史的変遷を踏まえ、保育施設での音楽に関する研究はこれまでも数多くなされてきている。本論文に類似した先行研究に該当するもの及びその目的をいくつか挙げてみると、次のような研究があげられる。秋山治子氏の『今、都内の幼稚園・保育園（所）でどのような歌が歌われているか：アンケートの集計と考察』（2012年）では、保育現場における歌唱教材の現状把握と今後の教材分析研究のためのデータ作成を通して、幼稚園と保育園における歌唱活動と教材に関する何らかの傾向を読み取ることを目的¹⁾とし、小澤和恵氏の『保育所・幼稚園実習で求められる音楽活動の考察－「生活の歌」と「季節の歌」について－』（2009年）は、保育所・幼稚園実習で求められる音楽活動の実際を明らかにし、今後の音楽指導のあり方について考察することを目的²⁾としている。また、河原田潤氏の『幼児保育現場で取り上げられる「子どもの歌」と考察－保育実習アンケートによる幼児音楽について－』（2007年）では、「歌」が実際保育現場でどのように取り上げられているか、またどのような傾向にあるのかを知るべく、本学保育科学生の保育実習時にスポットをあて、アンケート調査を行

い、それに関して考察することを目的³⁾とし、同じく河原田氏による『幼児保育現場で取り上げられる「子どもの歌」と考察（2）－教育実習（幼稚園）アンケートによる幼児音楽について－』（2008年）では、前論文と同手法で幼稚園実習にスポットをあて、それに関して考察し、保育園と比較することを目的⁴⁾としている。そして、倉科深陽氏の『幼児の音楽教育における歌唱研究－現場で歌われている幼児の歌の調査と考察（1993年～2008年）A』（2009年）では、保育現場でどのような曲が歌われているのか、歌われている子どもの曲の実態を知るため、保育現場に即した内容の授業が行えるよう実習のまとめ（報告書）として学生に調査していたものを、15年の経過を5年ごとに分析し、ここ5年の傾向をまとめて報告したもの⁵⁾がある。

これらの研究では東京都内の幼稚園・保育所を調査対象にしたものや、幼稚園・保育所実習を通して調査するものであるが、本研究に照らしてみると、調査対象地域や調査手法も異なり、さらには岐阜県においては東濃、中濃、西濃、飛騨高山の4地区あるが、本県内の養成校による研究は現在のところなされていないのが現状である。

こうしたことから本研究では、こうした先行研究を踏まえ、岐阜県東濃地区（5市）の保育施設（幼稚園、保育所、認定こども園、幼児園）に焦点を当て、そこでの保育カリキュラムの実際として取り扱われている「四季の歌」を調査し、その実態を5市全体や各市で比較しながら傾向と違いを分析検証することを目的とする。

Ⅱ. 方法

1) 手続き：

岐阜県東濃地区（多治見市、土岐市、瑞浪市、恵那市、中津川市）の保育施設（幼稚園、保育所、認定こども園、幼児園）の園長に調査用紙の主旨を電話にて説明し、郵送にて園に配布する。配布した調査用紙を園長より各年齢の保育者へ配布と回答を依頼する。対象とする保育者は、各配

属年齢(複数クラスを含む)において1枚のアンケート用紙とし、同年齢のクラスが複数ある場合は、同年齢クラスの保育者と相談し合いながらするなどにより回答する。調査の手法については、スコアリング方式による定量調査(郵送調査)と自由記述式による質問紙調査法で、質問項目は以下の通りである。

＜設定質問項目＞

- 質問① 保育施設の勤務地について【選択】
- 質問② 保育施設の種類について【選択】
- 質問③ 保育施設の設立種別について【選択】
- 質問④ 担当配属年齢について【選択】
- 質問⑤ 実際の保育で取り入れている四季の歌(各月毎で該当する歌)について【選択および自由記述】
- 質問⑥ 歌を取り扱う際のポイントについて【選択および自由記述】
- 質問⑦ 園として決めて取り扱っている楽譜の有無について【選択】
- 質問⑧ 園で取り扱っている楽譜の出版社とタイトルについて【自由記述】
- 質問⑨ 園として楽譜を決めて取り扱っている理由について【自由記述】
- 質問⑩ 個人で楽譜を決めて取り扱っている理由について【自由記述】

調査用紙は匿名での記載である。記載されたアンケート用紙は園長が一括して管理し、同封されたレターパックライトにて返送していただく。

本調査の実施に先立ち、本研究は中京学院大学中京短期大学部研究倫理審査会の承認を受け実施するものである。(承認番号:第25031号)

回収された調査用紙は、以下の視点で解析を行った。

1. 岐阜県東濃地区(多治見市、土岐市、瑞浪市、恵那市、中津川市)の月別取り扱い曲の状況について
2. 岐阜県東濃地区全体と各市における月別最多取り扱い曲およびその状況と傾向について

3. 歌を取り扱う際のポイントについて
4. 園として決めて取り扱っている楽譜の有無の状況について

2) 調査対象:

岐阜県東濃地区(多治見市、土岐市、瑞浪市、恵那市、中津川市)にある107の保育施設(幼稚園、保育所、認定こども園、幼児園)である。

3) 期間:

2016年(平成28年)2月上旬から3月下旬にかけて実施した。

4) 倫理的配慮:

調査用紙の表紙には、アンケートの結果が研究責任者によって厳重に管理され、厳正にプライバシーを守り、取り扱われることが明記されている。回収時にも個人が特定されることのないように配慮した。また、フェイスシートにおいて、研究の協力に同意できなければ、回答しなくてもよいとするチェック項目が設けてあり、質問に対する回答、参加を拒否できる配慮がなされている。調査実施時において、個人情報管理徹底について遵守を申し伝え、結果は、個人が特定できないデータにおいて論文化されることを示唆し協力を得た。

Ⅲ. 結果

調査用紙配布部数と回収部数及びその回収率は、岐阜県東濃地区(5市)の保育施設が107園ある中、428部(1園当たり一律4部)配布し、311部回収、回収率は72.7%であった。

市毎では、多治見市が25園(100部)中71部回収、回収率71.0%。土岐市が19園(76部)中47部回収、回収率61.8%。瑞浪市が10園(40部)中38部回収、回収率95.0%。恵那市が19園(76部)中57部回収、回収率75.0%。そして中津川市が34園(136部)中98部回収、回収率72.8%であった。

また、5市全体の園数における回収率は84.1%

(107園中90園が回答を寄せた)であった。

部数の回収率と園数による回収率の違いは、1園当たり一律で4部(5歳児、4歳児、3歳児、満3歳児)を想定したものであるから、園によっては4つのクラスがない場合もある。そのため部数による回収率は園数による回収率の実態とは異なるものとなる。

＜岐阜県東濃地区(5市)の月別取り扱い曲の状況結果について＞

表1に示した四季の歌は、本学専任教員と非常勤講師が音楽関連科目「音楽Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」の授業で使用しているテキスト(坂東貴余子編『簡易伴奏によるこどもの歌ベストテン<改訂新版>』ドレミ楽譜出版社2014)をもとに選曲した歌(本学の授業において代々受け継がれているふさわしい歌)であるが、これらの歌から多治見市、土岐市、瑞浪市、恵那市、中津川市の幼稚園、保育所、認定こども園、幼児園合わせて90園、311部のデータを受けて、4月から3月までの12ヵ月間に、保育施設で取り扱われている四季の歌についての回答結果(上位5位)である。

調査項目での各月ごとに歌われている四季の歌の選曲数は、設定質問項目の質問⑤においては、

4月(14曲)、5月(13曲)、6月(16曲)、7月(18曲)、8月(14曲)、9月(14曲)、10月(14曲)、11月(13曲)、12月(12曲)、1月(9曲)、2月(13曲)、3月(17曲)であり、最も選曲数が少ない1月の9曲から最も多い3月の17曲と、月によって選択項目の曲数に差はあるが、ここではこれらすべての結果の公表は控える。また、各月の曲数の違いによる結果への影響は、複数回答による選択肢のため、結果に影響するものではないと考えているので、上位5位までを公表する。

これにより、5市全体及び各市で歌われる歌の傾向は表1の通りであった。

表1 岐阜県東濃地区(5市)の月別取り扱い曲についての学級毎の回答(複数回答)

※表1の見方について、多治見・土岐・瑞浪・恵那・中津川市の横にある()内の数字は各市の全体回答学級数で、曲名横の数字は各市の回答学級数、()内の数字は曲に対する市毎の割合を示す。曲順については5市全体の順位である。また、学級数については、同年齢クラスの学級が複数ある場合は、一つの学級として示している。

【4月に取り扱う四季の歌】

| 曲順 | 4月に取り扱う四季の歌 | 多治見市(71) | 土岐市(47) | 瑞浪市(38) | 恵那市(57) | 中津川市(98) | 5市全体(311) |
|----|---------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| 1位 | チューリップ(近藤 宮子 作詞/井上 武士 作曲) | 55 (77.5%) | 47 (100%) | 30 (78.9%) | 46 (80.7%) | 81 (82.7%) | 259 (83.3%) |
| 2位 | こいのぼり(近藤 宮子 作詞/小出 浩平 作曲) | 52 (73.2%) | 34 (72.3%) | 31 (81.6%) | 43 (75.4%) | 80 (81.6%) | 240 (77.2%) |
| 3位 | ちょうちょう(スペイン民謡) | 30 (42.3%) | 36 (76.6%) | 24 (63.2%) | 38 (66.7%) | 67 (68.4%) | 195 (62.7%) |
| 4位 | 春がきたんだ(ともぎ ゆきお 作詞/峯 陽 作曲) | 25 (35.2%) | 1 (2.1%) | 18 (47.4%) | 12 (21.1%) | 53 (54.1%) | 109 (35.0%) |
| 5位 | ぶんぶんぶん(ボヘミア民謡) | 18 (25.4%) | 16 (34.0%) | 9 (23.7%) | 15 (26.3%) | 22 (22.4%) | 80 (25.7%) |

【5月に取り扱う四季の歌】

| 曲順 | 5月に取り扱う四季の歌 | 多治見市(71) | 土岐市(47) | 瑞浪市(38) | 恵那市(57) | 中津川市(98) | 5市全体(311) |
|----|---------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| 1位 | こいのぼり(近藤 宮子 作詞/小出 浩平 作曲) | 59 (83.1%) | 45 (95.7%) | 36 (94.7%) | 57 (100%) | 98 (100%) | 295 (94.9%) |
| 2位 | ちょうちょう(スペイン民謡) | 14 (19.7%) | 13 (27.7%) | 8 (21.1%) | 19 (33.3%) | 38 (38.8%) | 92 (29.6%) |
| 3位 | チューリップ(近藤 宮子 作詞/井上 武士 作曲) | 17 (23.9%) | 10 (21.3%) | 10 (26.3%) | 18 (31.6%) | 33 (33.7%) | 88 (28.3%) |
| 4位 | おかあさん(田中 ナナ 作詞/中田 喜直 作曲) | 20 (28.2%) | 13 (27.7%) | 8 (21.1%) | 6 (10.5%) | 23 (23.5%) | 70 (22.5%) |
| 5位 | めだかがっこう(茶木 滋 作詞/中田 喜直 作曲) | 13 (18.3%) | 10 (21.3%) | 7 (18.4%) | 9 (15.8%) | 24 (24.5%) | 63 (20.3%) |
| 5位 | ぶんぶんぶん(ボヘミア民謡) | 16 (22.5%) | 9 (19.1%) | 5 (13.2%) | 15 (26.3%) | 18 (18.4%) | 63 (20.3%) |

【6月に取り扱う四季の歌】

| 曲順 | 6月に取り扱う四季の歌 | 多治見市(71) | 土岐市(47) | 瑞浪市(38) | 恵那市(57) | 中津川市(98) | 5市全体(311) |
|----|---------------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| 1位 | かたつむり(文部省唱歌) | 45 (63.4%) | 36 (76.6%) | 32 (84.2%) | 44 (77.2%) | 85 (86.7%) | 242 (77.8%) |
| 2位 | かえるのがつしよう(岡本 敏明 作詞/ドイツ民謡) | 32 (45.1%) | 36 (76.6%) | 29 (76.3%) | 44 (77.2%) | 78 (79.6%) | 219 (70.4%) |
| 3位 | たなばたさま(権藤 はなよ・林 柳波 作詞/下総 婉一 作曲) | 45 (63.4%) | 32 (68.1%) | 22 (57.9%) | 41 (71.9%) | 64 (65.3%) | 204 (65.6%) |
| 4位 | シャボン玉(野口 雨情 作詞/中山 晋平 作曲) | 20 (28.2%) | 29 (61.7%) | 24 (63.2%) | 23 (40.4%) | 35 (35.7%) | 131 (42.1%) |
| 5位 | あめふりくまのこ(鶴見 正夫 作詞/湯山 昭 作曲) | 16 (22.5%) | 21 (44.7%) | 16 (42.1%) | 28 (49.1%) | 41 (41.8%) | 122 (39.2%) |

【7月に取り扱う四季の歌】

| 曲順 | 7月に取り扱う四季の歌 | 多治見市 (71) | 土岐市 (47) | 瑞浪市 (38) | 恵那市 (57) | 中津川市 (98) | 5市全体 (311) |
|----|---------------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| 1位 | たなばたさま(権藤 はなよ・林 柳波 作詞/下総 皖一 作曲) | 54 (76.1%) | 44 (93.6%) | 25 (65.8%) | 53 (93.0%) | 89 (90.8%) | 265 (85.2%) |
| 2位 | おぼけななてないさ(横 みのり 作詞/峯 陽 作曲) | 30 (42.3%) | 21 (44.7%) | 16 (42.1%) | 20 (35.1%) | 54 (55.1%) | 141 (45.3%) |
| 3位 | きらきら星(武蔵 悦子 作詞/フランス民謡) | 18 (25.4%) | 15 (31.9%) | 13 (34.2%) | 28 (49.1%) | 47 (48.0%) | 121 (38.9%) |
| 4位 | シャボン玉(野口 雨情 作詞/中山 晋平 作曲) | 13 (18.3%) | 25 (53.2%) | 19 (50.0%) | 18 (31.6%) | 37 (37.8%) | 112 (36.0%) |
| 5位 | かえるのがっしょう(岡本 敏明 作詞/ドイツ民謡) | 18 (25.4%) | 11 (23.4%) | 10 (26.3%) | 16 (28.1%) | 39 (39.8%) | 94 (30.2%) |

【8月に取り扱う四季の歌】

| 曲順 | 8月に取り扱う四季の歌 | 多治見市 (71) | 土岐市 (47) | 瑞浪市 (38) | 恵那市 (57) | 中津川市 (98) | 5市全体 (311) |
|----|-----------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| 1位 | おぼけななてないさ(横 みのり 作詞/峯 陽 作曲) | 16 (22.5%) | 19 (40.4%) | 17 (44.7%) | 18 (31.6%) | 47 (48.0%) | 117 (37.6%) |
| 2位 | うみ(文部省唱歌/林 柳波 作詞/井上 武士 作曲) | 13 (18.3%) | 14 (29.8%) | 9 (23.7%) | 20 (35.1%) | 33 (33.7%) | 89 (28.6%) |
| 3位 | とんぼのめがね(額賀 誠志 作詞/平井 康三郎 作曲) | 12 (16.9%) | 7 (14.9%) | 5 (13.2%) | 15 (26.3%) | 27 (27.6%) | 66 (21.2%) |
| 4位 | きらきら星(武蔵 悦子 作詞/フランス民謡) | 5 (7.0%) | 6 (12.8%) | 7 (18.4%) | 11 (19.3%) | 29 (29.6%) | 58 (18.6%) |
| 5位 | 水あそび(東くめ 作詞/瀧 廉太郎 作曲) | 11 (15.5%) | 20 (42.6%) | 10 (26.3%) | 8 (14.0%) | 8 (8.2%) | 57 (18.3%) |

【9月に取り扱う四季の歌】

| 曲順 | 9月に取り扱う四季の歌 | 多治見市 (71) | 土岐市 (47) | 瑞浪市 (38) | 恵那市 (57) | 中津川市 (98) | 5市全体 (311) |
|----|-------------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| 1位 | どんぐりころころ(青木 存義 作詞/梁田 貞 作曲) | 50 (70.4%) | 34 (72.3%) | 31 (81.6%) | 41 (71.9%) | 81 (82.7%) | 237 (76.2%) |
| 2位 | とんぼのめがね(額賀 誠志 作詞/平井 康三郎 作曲) | 44 (62.0%) | 41 (87.2%) | 29 (76.3%) | 41 (71.9%) | 71 (72.4%) | 226 (72.7%) |
| 3位 | まつぼっくり(広田 孝次 作詞/小林 つや江 作曲) | 33 (46.5%) | 25 (53.2%) | 24 (63.2%) | 30 (52.6%) | 64 (65.3%) | 176 (56.6%) |
| 4位 | 大きな栗の木の下で(イギリス民謡) | 35 (49.3%) | 23 (48.9%) | 23 (60.5%) | 24 (42.1%) | 57 (58.2%) | 162 (52.1%) |
| 5位 | やきいもグーチーパー(阪田 寛夫 作詞/山本 直純 作曲) | 35 (49.3%) | 16 (34.0%) | 21 (55.3%) | 23 (40.4%) | 49 (50.0%) | 144 (46.3%) |

【10月に取り扱う四季の歌】

| 曲順 | 10月に取り扱う四季の歌 | 多治見市 (71) | 土岐市 (47) | 瑞浪市 (38) | 恵那市 (57) | 中津川市 (98) | 5市全体 (311) |
|----|-------------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| 1位 | どんぐりころころ(青木 存義 作詞/梁田 貞 作曲) | 51 (71.8%) | 44 (93.6%) | 32 (84.2%) | 51 (89.5%) | 95 (96.9%) | 283 (91.0%) |
| 2位 | やきいもグーチーパー(阪田 寛夫 作詞/山本 直純 作曲) | 48 (67.6%) | 35 (74.5%) | 33 (86.8%) | 44 (77.2%) | 87 (88.8%) | 247 (79.4%) |
| 3位 | まつぼっくり(広田 孝次 作詞/小林 つや江 作曲) | 45 (63.4%) | 37 (78.7%) | 30 (78.9%) | 36 (63.2%) | 83 (84.7%) | 231 (74.3%) |
| 4位 | 大きな栗の木の下で(イギリス民謡) | 41 (57.7%) | 28 (59.6%) | 25 (65.8%) | 36 (63.2%) | 65 (66.3%) | 195 (62.7%) |
| 5位 | とんぼのめがね(額賀 誠志 作詞/平井 康三郎 作曲) | 28 (39.4%) | 23 (48.9%) | 18 (47.4%) | 30 (52.6%) | 48 (49.0%) | 147 (47.3%) |

【11月に取り扱う四季の歌】

| 曲順 | 11月に取り扱う四季の歌 | 多治見市 (71) | 土岐市 (47) | 瑞浪市 (38) | 恵那市 (57) | 中津川市 (98) | 5市全体 (311) |
|----|-------------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| 1位 | やきいもグーチーパー(阪田 寛夫 作詞/山本 直純 作曲) | 46 (64.8%) | 37 (78.7%) | 28 (73.7%) | 42 (73.7%) | 74 (75.5%) | 227 (73.0%) |
| 2位 | まつぼっくり(広田 孝次 作詞/小林 つや江 作曲) | 33 (46.5%) | 30 (63.8%) | 25 (65.8%) | 30 (52.6%) | 65 (66.3%) | 183 (58.8%) |
| 3位 | どんぐりころころ(青木 存義 作詞/梁田 貞 作曲) | 37 (52.1%) | 26 (55.3%) | 20 (52.6%) | 34 (59.6%) | 65 (66.3%) | 182 (58.5%) |
| 4位 | 大きな栗の木の下で(イギリス民謡) | 32 (45.1%) | 20 (42.6%) | 15 (39.5%) | 21 (36.8%) | 51 (52.0%) | 139 (44.7%) |
| 5位 | 山の音楽家(水田 詩仙 作詞/ドイツ民謡) | 18 (25.4%) | 19 (40.4%) | 9 (23.7%) | 21 (36.8%) | 35 (35.7%) | 102 (32.8%) |

【12月に取り扱う四季の歌】

| 曲順 | 12月に取り扱う四季の歌 | 多治見市 (71) | 土岐市 (47) | 瑞浪市 (38) | 恵那市 (57) | 中津川市 (98) | 5市全体 (311) |
|----|----------------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| 1位 | あわてんぼうのサンタクロース(吉岡 治 作詞/小林 垂星 作曲) | 61 (85.9%) | 47 (100%) | 32 (84.2%) | 51 (89.5%) | 96 (98.0%) | 287 (92.3%) |
| 2位 | お正月(東くめ 作詞/瀧 廉太郎 作曲) | 50 (70.4%) | 37 (78.7%) | 29 (76.3%) | 41 (71.9%) | 82 (83.7%) | 239 (76.8%) |
| 3位 | ゆき(文部省唱歌) | 22 (31.0%) | 15 (31.9%) | 23 (60.5%) | 35 (61.4%) | 72 (73.5%) | 167 (53.7%) |
| 4位 | ジンゲルベル(宮澤 章二 作詞/ピアポント 作曲) | 27 (38.0%) | 17 (36.2%) | 18 (47.4%) | 35 (61.4%) | 58 (59.2%) | 155 (49.8%) |
| 5位 | たきび(巽 聖歌 作詞/渡辺 茂 作曲) | 12 (16.9%) | 18 (38.3%) | 8 (21.1%) | 14 (24.6%) | 36 (36.7%) | 88 (28.3%) |

【1月に取り扱う四季の歌】

| 曲順 | 1月に取り扱う四季の歌 | 多治見市 (71) | 土岐市 (47) | 瑞浪市 (38) | 恵那市 (57) | 中津川市 (98) | 5市全体 (311) |
|----|----------------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| 1位 | まめまき(絵本唱歌) | 52 (73.2%) | 41 (87.2%) | 29 (76.3%) | 54 (94.7%) | 93 (94.9%) | 269 (86.5%) |
| 2位 | ゆき(文部省唱歌) | 36 (50.7%) | 27 (57.4%) | 28 (73.7%) | 42 (73.7%) | 82 (83.7%) | 215 (69.1%) |
| 3位 | お正月(東くめ 作詞/瀧 廉太郎 作曲) | 32 (45.1%) | 29 (61.7%) | 24 (63.2%) | 30 (52.6%) | 51 (52.0%) | 166 (53.4%) |
| 4位 | たきび(巽 聖歌 作詞/渡辺 茂 作曲) | 13 (18.3%) | 19 (40.4%) | 11 (28.9%) | 12 (21.1%) | 28 (28.6%) | 83 (26.7%) |
| 5位 | 雪のこぼろ(村山 寿子 作詞/外国曲) | 12 (16.9%) | 3 (6.4%) | 2 (5.3%) | 14 (24.6%) | 51 (52.0%) | 82 (26.4%) |

【2月に取り扱う四季の歌】

| 曲順 | 2月に取り扱う四季の歌 | 多治見市 (71) | 土岐市 (47) | 瑞浪市 (38) | 恵那市 (57) | 中津川市 (98) | 5市全体 (311) |
|----|---------------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| 1位 | まめまき(絵本唱歌) | 47 (66.2%) | 41 (87.2%) | 32 (84.2%) | 43 (75.4%) | 91 (92.9%) | 254 (81.7%) |
| 2位 | うれしいひなまつり(サトウ ハチロー 作詞/河村 光陽 作曲) | 48 (67.6%) | 32 (68.1%) | 28 (73.7%) | 33 (57.9%) | 79 (80.6%) | 220 (70.7%) |
| 3位 | ゆき(文部省唱歌) | 20 (28.2%) | 20 (42.6%) | 17 (44.7%) | 29 (50.9%) | 67 (68.4%) | 153 (49.2%) |
| 4位 | 雪のこぼろ(村山 寿子 作詞/外国曲) | 9 (12.7%) | 3 (6.4%) | 3 (7.9%) | 13 (22.8%) | 47 (48.0%) | 75 (24.1%) |
| 5位 | 雪のペンキやさん(則武 昭彦 作詞/安藤 孝 作曲) | 12 (16.9%) | 17 (36.2%) | 4 (10.5%) | 16 (28.1%) | 18 (18.4%) | 67 (21.5%) |
| 5位 | コンコンシャンのうた(香山 美子 作詞/湯山 昭 作曲) | 13 (18.3%) | 4 (8.5%) | 11 (28.9%) | 21 (36.8%) | 18 (18.4%) | 67 (21.5%) |

【3月に取り扱う四季の歌】

| 曲順 | 3月に取り扱う四季の歌 | 多治見市 (71) | 土岐市 (47) | 瑞浪市 (38) | 恵那市 (57) | 中津川市 (98) | 5市全体 (311) |
|----|---------------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| 1位 | うれしいひなまつり(サトウ ハチロー 作詞/河村 光陽 作曲) | 51 (71.8%) | 40 (85.1%) | 30 (78.9%) | 45 (78.9%) | 78 (79.6%) | 243 (78.5%) |
| 2位 | チューリップ(近藤 宮子 作詞/井上 武士 作曲) | 25 (35.2%) | 23 (48.9%) | 16 (42.1%) | 20 (35.1%) | 49 (50.0%) | 133 (42.8%) |
| 3位 | 春がきたんだ(ともろぎ ゆきお 作詞/峯 陽 作曲) | 24 (33.8%) | 3 (6.4%) | 21 (55.3%) | 19 (33.3%) | 56 (57.1%) | 123 (39.5%) |
| 4位 | ちょうちん(スペイン民謡) | 18 (25.4%) | 19 (40.4%) | 15 (39.5%) | 15 (26.3%) | 40 (40.8%) | 107 (34.4%) |
| 5位 | おもいでのアラバム(増子 とし 作詞/本多 鏡磨 作曲) | 15 (21.1%) | 8 (17.0%) | 2 (5.3%) | 12 (21.1%) | 30 (30.6%) | 67 (21.5%) |

＜岐阜県東濃地区全体と各市における月別最多
取り扱い曲およびその状況と傾向について＞

岐阜県東濃地区全体における月別の取り扱いの状況により、最も多く歌われている各月の歌の回答数及び割合をまとめてみると、表2のような結果となった。

また、表3に示す通り、「チューリップ」、「このぼり」、「あわてんぼうのサンタクロース」は、一部の市では全学級が取り扱う結果であった。

＜歌を取り扱う際のポイントについて＞

歌を取り扱う際のポイントについては、「行事で歌うために練習するから」、「子どもたちに知ってほしい歌だから」、「子どもたちが歌いやすい歌だから」、「子どもたちが好きな歌だから」、「昔から園で歌われているから」の5つを選択項目として挙げて質問したところ、表4で示した結果となった。

表2 岐阜県東濃地区（5市）の月別取り扱い曲
第1位についての学級毎の回答（複数回答）

| 月 | 各月で最も多く歌われている歌 | 5市全体 | |
|-----|----------------|-------------|-------|
| | | 回答数 ／311 | 割合 |
| 4月 | チューリップ | 259 | 83.3% |
| 5月 | このぼり | 295 | 94.9% |
| 6月 | かたつむり | 242 | 77.8% |
| 7月 | たなばたさま | 265 | 85.2% |
| 8月 | おぼけなんてないさ | 117 | 37.6% |
| 9月 | どんぐりころころ | 237 | 76.2% |
| 10月 | どんぐりころころ | 283 | 91.0% |
| 11月 | やきいもグーチーパー | 227 | 73.0% |
| 12月 | あわてんぼうのサンタクロース | 287 | 92.3% |
| 1月 | まめまき | 269 | 86.5% |
| 2月 | まめまき | 254 | 81.7% |
| 3月 | うれしいひなまつり | 244 | 78.5% |

＜園として決めて取り扱っている楽譜の有無の
状況について＞

園として楽譜を決めて取り扱っているかどうかについては、特に決めてない園がほとんどで、決めている園は107園中3園、多治見市の民間保育所が2園、土岐市の民間保育所が1園であった。

これらの園が楽譜を決めて取り扱っている理由として、「季節の歌を大切に全園児が歌えるようにするため」や、「子どもに無理のない音程で歌わせたい、伝えていきたい歌であるから」、「園オリジナルの様々な楽譜を一冊にまとめている」、「園として歌う曲を決めている」ということであった。

IV. 考察

今回は、岐阜県東濃地区（多治見市、土岐市、瑞浪市、恵那市、中津川市）の月別取り扱い曲の

表3 岐阜県東濃地区（5市）の月別取り扱い曲
全学級が取り扱う歌についての学級毎の回答
（複数回答）

| 月 自治体 | 4月 曲名 チューリップ | 5月 このぼり | 12月 あわてんぼうの サンタクロース |
|--------------|--------------------|-------------------|---------------------------|
| | | | |
| 土岐市 47学級 | 100.0% 47/47学級 | 95.7% 45/47学級 | 100.0% 47/47学級 |
| 瑞浪市 38学級 | 78.9% 30/38学級 | 94.7% 36/38学級 | 84.2% 32/38学級 |
| 恵那市 57学級 | 80.7% 46/57学級 | 100.0% 57/57学級 | 89.5% 51/57学級 |
| 中津川市 98学級 | 82.7% 81/98学級 | 100.0% 98/98学級 | 98.0% 96/98学級 |

表4 岐阜県東濃地区（5市）の歌を取り扱う際のポイントについての学級毎の回答（複数回答）

| 歌を取り扱う際のポイント | 多治見市 | 土岐市 | 瑞浪市 | 恵那市 | 中津川市 | 5市全体 |
|------------------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| 昔から園で歌われているから | 52.1% | 51.1% | 50.0% | 43.9% | 58.2% | 52.1% |
| | 37/71学級 | 24/47学級 | 19/38学級 | 25/57学級 | 57/98学級 | 162/311学級 |
| 子どもたちが好きな歌だから | 54.9% | 72.3% | 65.8% | 66.7% | 79.6% | 68.8% |
| | 39/71学級 | 34/47学級 | 25/38学級 | 38/57学級 | 78/98学級 | 214/311学級 |
| 子どもたちが歌いやすい歌だから | 67.6% | 74.5% | 76.3% | 68.4% | 69.4% | 70.4% |
| | 48/71学級 | 35/47学級 | 29/38学級 | 39/57学級 | 68/98学級 | 219/311学級 |
| 子どもたちに知ってほしい歌だから | 62.0% | 76.6% | 50.0% | 71.9% | 75.5% | 68.8% |
| | 44/71学級 | 36/47学級 | 19/38学級 | 41/57学級 | 74/98学級 | 214/311学級 |
| 行事で歌うために練習するから | 66.2% | 87.2% | 65.8% | 64.9% | 67.3% | 69.5% |
| | 47/71学級 | 41/47学級 | 25/38学級 | 37/57学級 | 66/98学級 | 216/311学級 |

状況、岐阜県東濃地区全体と各市における月別最多取り扱い曲およびその状況と傾向、歌を取り扱う際のポイント、園として決めて取り扱っている楽譜の有無の状況の4つの視点で解析を行い、それぞれの結果から岐阜県東濃地区(5市)の保育カリキュラムの実際として取り扱われている「四季の歌」の状況がわかった。

この度の結果で取り扱われている歌は、どの歌も全体的に季節や自然に親しむ歌、つまり「四季の歌」の括りであるが、5市全体での1位になっている歌に着目すると、「四季の歌」であるにも関わらず一方で、特定の行事に絡めて取り扱っている歌もある。5月、7月、12月、2月、3月であるが、5月はこどもの日で「こいのぼり」が、7月は七夕で「たなばたさま」が、12月はクリスマスで「あわてんぼうのサンタクロース」が、2月は節分で「まめまき」が、そして3月はひなまつりで「うれしいひなまつり」が歌われているように、行事に絡めて四季の歌を取り扱う傾向が見られた。

ちなみにこれらの月の中で、3月、5月、7月は五節句(人日、上巳、端午、七夕、重陽)の内の3つ(上巳、端午、七夕)であるが、1月の「人日」(七草の節句)と9月の「重陽」(菊の節句)での歌については、こうした行事に直接に絡めて取り扱っているとは言い難いように思える。この理由として、これらの節句(特に菊の節句)は、他の節句と比べてあまり実施されていないためである。このことにより保育現場においても、社会や四季の移り変わりを通して日常の保育を展開していく中で、我が国の伝統や文化を重んじ、継承していく役割があるとはいえ、社会が実施していないことから定着しない原因になっているのではないかと考えられる。

また、緒言の中で、1887(明治20)に幼稚園児のために作られた唱歌集『幼稚園唱歌集』について触れたが、この中には「ちょうちょう」(蝶々)や「ぶんぶんぶん」(蜜蜂)、「きらきら星」(うづまく水)などが文部省音楽取調掛によって収録・出版された歌も含まれており、保育における音楽

教育が始まって130年の歴史の中で、これらの歌が現在も歌い継がれていることは、現代社会とりわけ家庭では歌われなくなってきているこうした歌が、保育施設において歌い継がれ、広められていく上で重要ではないだろうか。

歌を取り扱う際のポイントについては多治見市と瑞浪市が「子どもたちが歌いやすい歌だから」を最も重視した回答であったが、その他の3市については土岐市が「行事で歌うために練習するから」、恵那市が「子どもたちに知ってほしい歌だから」、中津川市は「子どもたちが歌いやすい歌だから」と回答しており、市によって重視するポイントが異なった。地域性の違いなのか、あるいは保育者の保育(幼児音楽観)の傾向の違いなのか、いずれにしろ、地域によってそのポイントの違いが見られたのは確かである。また、5市全体では「子どもたちが歌いやすい歌だから」が70.4%で、最も重視するポイントとして示されたが、その他は「行事で歌うために練習するから」が69.5%、「子どもたちに知ってほしい歌だから」と「子どもたちが好きな歌だから」が68.8%と、そう大差は見られなかった。5市別では差が見られたが、5市全体では差が見られなかった。このことに対しては今後の一つの課題である。

一方で最も重視しないポイントは、5市及び5市全体ともに「昔から園で歌われているから」という回答であった。これは緒言でも述べたように、様々な歌のジャンルが時代の流れとともに誕生する中で、新しい歌が次々と歌われ始め、保育者も子どもの興味や関心を抱く歌や流行にも着目しつつ、従来の伝統的な歌も大切にしながら日常の保育を展開していくが、昔から園で歌われているといった伝統的な歌については、時代の流れとともに徐々に取り入れる回数も減りつつある状況を示しているのではないかと考えられる。

園として決めて取り扱っている楽譜の有無の状況については、ほとんどの園で決めた楽譜はないことが示されたが、一部の民間保育所では決めた楽譜があるとの回答から、これらの園については園独自の方針のもとで保育が展開されている状

況が伺えるのである。

今回の研究では、岐阜県東濃地区（5市）において、5市全体や各市で比較しながら分析検証し、その傾向や違いを明らかにしたが、別の視点で公立と私立（民間）の傾向の違い、あるいは年長（5歳児）・年中（4歳児）・年少（3歳児）・満3歳（未満児）といった年齢における傾向の違い、幼稚園・保育所・認定こども園・幼児園といった設立種別における傾向の違いなどの比較はしていない。今後はこうした視点での分析検証が必要である。

謝辞

本研究を進めるにあたりまして、ご協力いただきました岐阜県東濃地区の保育施設の先生方に感謝し、深く御礼を申し上げます。

【引用文献】

- 1) 秋山治子：“今、都内の幼稚園・保育園（所）でどのような歌が歌われているか：アンケートの集計と考察” 白梅学園大学・短期大学教育・福祉研究センター研究年報No.17, pp.40-46, 2012
- 2) 小澤和恵：“保育所・幼稚園実習で求められる音楽活動の考察 - 「生活の歌」と「季節の歌」について -” 埼玉純真短期大学研究論文集(2), pp.37-47, 2009
- 3) 河原田潤：“幼児保育現場で取り上げられる「子どもの歌」と考察 - 保育実習アンケートによる幼児音楽について -” 常葉学園短期大学紀要(38), pp.103-112, 2007
- 4) 河原田潤：“幼児保育現場で取り上げられる「子どもの歌」と考察(2) - 教育実習（幼稚園）アンケートによる幼児音楽について -” 常葉学園短期大学紀要(39), pp.49-57, 2008
- 5) 倉科深陽：“幼児の音楽教育における歌唱研究 - 現場で歌われている幼児の歌の調査と考察（1993年～2008年）A” 文化女子大学長野専門学校研究紀要(1), pp.19-34, 2009

【参考文献】

- 1) 原祐子：“保育における子どものうた” 四天王寺大学紀要第(47), 2008
- 2) 森久見子：“歌い継がれている子どもの歌 - 明治・大正・昭和初期の作品 -” 名古屋女子大学紀要家政・自然編,人文社会編(57), 2011